

令和6年度事業結果

令和6年度は、阪神・淡路大震災から30年を迎えたことから、防災とボランティア週間の1月18日・19日に特別防災展を開催し、広く防災意識の普及を図りました。

防災講演会及び防火・防災講習等については、年間計画どおりに実施し、来館者の防災に関する知識、技術の向上と防災意識の高揚に努めました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年度から4年度の来館者数は、いずれも4万人に満たない状況でしたが、令和5年度からは、徐々に防災体験も元の運用体制に戻し、令和6年度は、来館者が74,849人（前年比+6,105人）となり、令和7年3月8日には、開館からの来館者数は250万人を超えました。

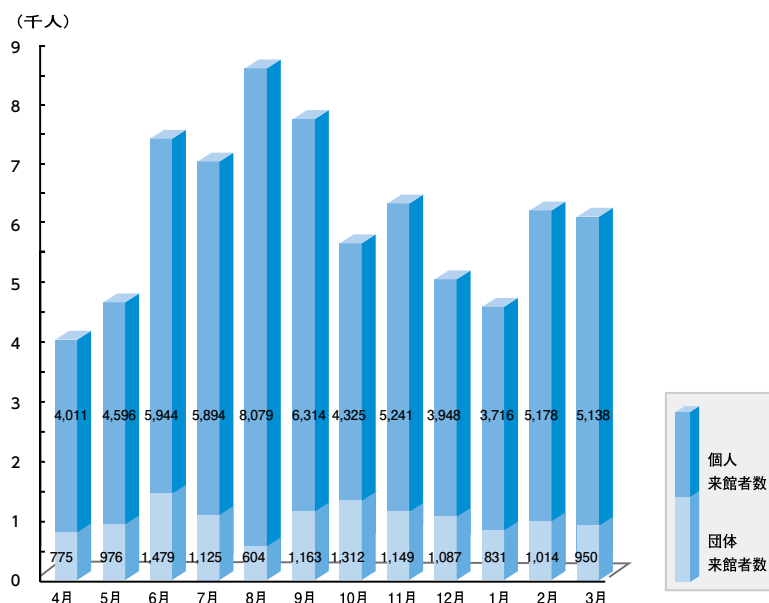
令和7年9月1日には、京都市市民防災センターは開館30周年を迎えます。京都市消防局と連携し、イベント等を開催し、多くの方に防災意識や災害対応力の向上等が図れるよう努めてまいります。

京都市市民防災センターの管理運営

令和6年度の来館者数は、74,849人で、自主防災会、事業所、学校等の団体の来館は、554団体でした。

令和6年度来館状況

月別	団体来館者数（人）	団体数	個人来館者数（人）	来館者数合計（人）	開館日数（日）
4月	775	[40]	4,011	4,786	24
5月	976	[45]	4,596	5,572	26
6月	1,479	[71]	5,944	7,423	25
7月	1,125	[52]	5,894	7,019	25
8月	604	[27]	8,079	8,683	26
9月	1,163	[54]	6,314	7,477	24
10月	1,312	[52]	4,325	5,637	26
11月	1,149	[50]	5,241	6,390	25
12月	1,087	[37]	3,948	5,035	22
1月	831	[40]	3,716	4,547	22
2月	1,014	[41]	5,178	6,192	24
3月	950	[45]	5,138	6,088	25
合計	12,465	[554]	62,384	74,849	294



防災 体験コーナー

1 F



地震体験室



映像体験室



強風体験室

2 F



消火訓練室



避難体験室



総合訓練室

3 F



4Dシアター「迫りくる地下街の恐怖」



アンダーパスの危険性



消防ヘリコプター(シミュレーター・エアレスキューパイロット)



土砂災害体験コーナー(リアルシアター)

館内図



1F

- ① 受付
- ② オリエンテーションステージ
- ③ 地震体験室
- ④ 強風体験室
- ⑤ 映像体験室



2F

- ① 消火訓練室
- ② 避難体験室
- ③ 通報訓練コーナー
- ④ 総合訓練室
- ⑤ 暮らしの安全コーナー



3F

- ① 4Dシアター「迫りくる地下街の恐怖」
- ② アンダーパスの危険性
- ③ 出動!!こども消防隊
- ④ 消防士に変身!!
- ⑤ 土砂災害体験コーナー
- ⑥ 消防ヘリコプター(シミュレーター・エアレスキューパイロット)
- ⑦ 視聴覚室
- ⑧ 消防士ブレイブファイヤーファイターズ
防災学習ミニゲーム

防火・防災に係る 各種イベント



防災用品の展示



子どもたちの描く消防の図画展示会



防災トークセッション



防災おたま劇場



特別展示

京都市市民防災センターでは、幼稚園、保育園等の子どもたちが描いた消防図画の展示会を開催しました。また、防災週間及び防災とボランティア週間に合わせて防災イベントを開催し、来館者に対して防火防災意識の高揚に努めました。

～ 防災週間 ～ 防災イベント

災害記録写真（阪神・淡路大震災、令和6年能登半島地震、平成25年台風18号）パネル展示、防災用品の展示、防災ビデオの上映

子どもたちの描く消防の図画展示会

京都市消防局が行う消防図画募集に応募があった幼稚園、保育園等の子どもたちの作品展示

～ 防災とボランティア週間 ～ 特別防災展 阪神・淡路大震災から30年 — 震災の教訓を未来へ —

防災トークセッション、防災おたま劇場、阪神・淡路大震災記録映像の上映、写真撮影コーナー、わくわくワークショップ（防災絆BOXの作成）、特別展示（阪神・淡路大震災災害記録写真、感震ブレーカー、3日間の備蓄物資、非常持出品、ピノキオぶるる体験等）

防災講演会の開催

近年、国内で多発化している異常気象や風水害、また、地震災害等、「水災害への備え」、「自然災害への備え」をテーマとした防災講演会を京都市市民防災センターで開催し、市民に対して防災情報の提供を行いました。

災害に強いまちづくり講座（Ⅰ）

テーマ：「水災害への備え」



災害に強いまちづくり講座(Ⅰ) 川池 氏

実 施 日	令和6年7月7日(日)
会 場	京都市市民防災センター
講 師	京都大学防災研究所教授 川池 健司 氏
演 題	京都の豪雨災害にどう備えるか

災害に強いまちづくり講座（Ⅱ）

テーマ：「自然災害への備え」



災害に強いまちづくり講座(Ⅱ) 富家 氏

実 施 日	令和6年11月10日(日)
会 場	京都市市民防災センター
講 師	一級建築士 富家建築設計事務所代表 富家 裕久 氏
演 題	自宅のセルフチェックと耐震診断

災害に強いまちづくり講座（Ⅲ）

テーマ：「自然災害への備え」



災害に強いまちづくり講座(Ⅲ) 境 氏

実 施 日	令和7年3月8日(土)
会 場	京都市市民防災センター
講 師	京都大学防災研究所教授 境 有紀 氏
演 題	2024年能登半島地震の建築被害、そして、 災害にどう対応していくか

防火・防災講習等の開催 (自主事業)

■ 防火・防災講習

日本消防設備安全センター受託講習

- 自衛消防業務講習
- 防火対象物点検資格者講習
- 防災管理点検資格者講習

日本防火・防災協会受託講習

- 防火管理講習
- 防災管理講習
- 防火・防災管理講習

■ 救命講習

- 応急手当普及員講習
- 危険物取扱者試験予備講習
- 京の宿泊所防火研修
- 事業所研修コース

他機関との事業調整

- 普通救命講習
- 上級救命講習

京都市消防局と連携を図り、次の講習を開催し、事業所の防火・防災体制の強化と市民の応急手当能力の普及啓発を図りました。

実施回数 (回)		受講者数 (人)
新規講習	18	534
再講習	12	386

実施回数 (回)		受講者数 (人)
新規講習	1	34
再講習	2	71

実施回数 (回)		受講者数 (人)
新規講習	1	11
再講習	1	46

実施回数 (回)		受講者数 (人)
甲種防火 新規講習	23	2,160
甲種防火 再講習	1	104
乙種防火 講習	2	158

実施回数 (回)		受講者数 (人)
新規講習	1	99

実施回数 (回)		受講者数 (人)
新規講習	13	1,300
再講習	1	72

実施回数 (回)		受講者数 (人)
新規講習	13	114
再講習	19	113

実施回数 (回)		受講者数 (人)
6		199

実施回数 (回)		受講者数 (人)
2		36

実施事業所		受講者数 (人)
45		665

京都市消防局が実施した講習会に係る事業調整を実施しました。

広報広聴活動の実施

■ 市民防災センターの来館勧奨

市民防災センターの利用促進を図るため、来館勧奨用案内チラシ等を作成し、消防署等を通じて、市内の自主防災会等に来館勧奨用案内チラシ等を配布し、利用勧奨に努めました。

- 来館勧奨用案内チラシ(開館日カレンダー入り) 64,000部
- 来館勧奨用案内チラシ 3,000部
(事業所研修案内及び開館日カレンダー入り)

■ 各種講習の受講勧奨

各講習会の受講案内書等を作成し、市内各消防署等へ配布し受講希望者の利便を図りました。

- 「応急手当普及員講習」受講案内 2,600部
- 「防火管理講習・防災管理講習」日程チラシ 6,200部

■ 広報媒体による情報提供



啓発用ステッカー

自主防災会や事業所等に対して、新たな防災情報を発信するため、広報媒体(冊子)を作成し配布しました。

- 「災害に強いまちづくり講座」講演録 11,000部

協会の事業内容等について、消防防災関係事業団体等へ配布しました。

- 令和6年度版一般財団法人京都市防災協会「事業概要」400部

「#7119」の普及啓発用ステッカーを作成し、配布しました。

- 「#7119」の普及啓発用ステッカー 500部

■ インターネットによる情報提供



Instagramの投稿

京都市市民防災センターのホームページ及びインスタグラム等に当センターの体験施設の紹介・案内、また、各講習会の開催予定等の情報を提供し、京都市市民防災センターの利用促進に努めました。

- インターネットからの発信回数 156回
- インスタグラムからの発信回数 38回
※フォロワー数 754 (R7.3.31現在)

■ 報道機関等への情報提供

報道関係機関や情報誌の発行社などに対し、災害の疑似体験を通じた災害時の対処法や日頃の備えの重要性及び京都市市民防災センターの施設紹介などについて、取材対応を通じて防火防災情報等を発信しました。

- テレビ放送回数 2回
- 雑誌等掲載回数 8回

■ 広聴活動

インターネットEメール、来館者アンケート（窓口サービス評価）等による広聴活動を行いました。

来館者アンケート（窓口サービス評価）では、令和6年9月11日（水）から10月14日（月）までの間に来館された13歳以上の方にアンケート用紙を配布し、1,017名から回答を得ました。

各体験コーナーの評価結果（令和6年度）

映像	地震	強風	避難	消火	土砂災害	地下鉄	平均
4.37	4.71	4.60	4.70	4.66	4.70	4.46	4.57

窓口サービス評価結果（令和6年度）

対応の仕方	身だしなみ	接遇の態度	説明の仕方	窓口の印象	5項目の平均
・あいさつ ・言葉づかい	・清潔感 ・ふさわしい服装	・笑顔、表情 ・姿勢、誠実感	・親切、丁寧 ・わかりやすさ	・整頓整理 ・案内表示	
4.76	4.77	4.76	4.77	4.74	4.76

注:各項目5点満点で評価（大変よかった＝5点、よかった＝4点、普通＝3点、あまりよくなかった＝2点、よくなかった＝1点）

京都市市民防災センターの来館者に対して、防災体験を通じて防災用品の備えの必要性について普及啓発を図るとともに、防災用品の販売（斡旋）を行いました。

市民や各種団体等に対して、防火防災啓発器材及び防災ビデオ等の貸出しを行いました。

地震等に関する災害写真パネル（阪神淡路大震災・能登半島地震等）及び非常持出品の防災用品を、消防署を通じて貸出を実施いたしました。

○貸出件数 26件

市民、事業所及び各種団体等に対して、防災ビデオの貸出を実施いたしました。

○貸出件数 156件

○貸出本数 378本

令和6年度は、京都市消防局その他の団体との連携事業を行いました。

○京都市消防局との連携

「京都市総合防災訓練」防火・防災啓発ブースでの防災用品の展示

「消防出初式」市民防災体験・展示ブースで防災用品の展示

阪神淡路大震災から30年特別防災展の実施（再掲）

京都市自衛消防隊訓練大会における会場設営費を支援

第8回京都市消防団フェスタ周知ポスター作製費を支援

消防局公式キャラクター等身大パネル作製費を支援

阪神淡路大震災記録映像編集費を支援

○京都市内博物館施設連絡協議会

「第28回京都ミュージアムロード」のスタンプラリー企画に参加

防災用品の普及啓発及び販売

防火防災啓発器材等の貸出し

■ 防火防災啓発器材の貸出し

■ 防災ビデオの貸出し

他団体との連携



消防出初式(防災用品展示コーナー)